

フィールド風

(現場)からの

宮田守男

7月上旬、松本信用金庫白馬支店で取引する企業経営者で構成する信白会が企画した「佐原・舟めぐりとJAXA筑波宇宙セン

ター」への研修旅行に参加する。多くの

今回は、高速道路網の開通による経済圏への見聞が大きな目的。平成23年3月に北関東道で全区間が開通、北関東3県の経済に大きな変化を生み、今年2月に圏央道全線開通。

特に成田空港から関東各地をはじめ多くの観光地へのアクセスが向上、これまで長野方面には都心ルートを余儀なくされていたが、開通後は圏央道などのルート選択が可能に

訪れた佐原は「北総4都市江戸紀行・江戸を感じる北総の街並み」として日本遺産認定され、日本で初めて実測による全国地図を作った伊能忠敬の生地として知られた地だ。利根川に注ぐ「小

水位を大幅に下げている状況だったが、江戸当時の雰囲気味わうことができた。

舟を操縦していた女性と話をすると、思わず年齢を尋ねると、80歳と手の指で明るく伝えてくる。「20年前は、最年少、今は最高齢、若いころは、水郷地帯で舟の操縦は当たり前、文化の継続が心配だ」と寂しそうに語る姿に、あたためた地域を見つめ直す。

自ら体験する事で、今後の地域経済への可能性を考える大切さを知る

賞も受け取らない無償ボランティア。無償が当たり前と、笑顔で対応する地域性と人間性に驚きを抱くこと自体が、大北地域の観光体制が時代遅れになってはいないかと心配にな

野川」での舟めぐりは人気だ。江戸時代、舟を使って醤油などの地域の産物を江戸に輸送した歴史は、川沿いの歴史的な建物群から伝わってくる。続いた降雨と、台風対応の為に

30分程の所要時間だったが、徒歩で巡るのは違った目線で江戸の街並を楽しむことができた。旅先での食事を楽しむの1つ。



旅の楽しみの一つが、訪れた地域で活躍する笑顔の出会いだ。飾らない人間性に引かれてしまう

1日目は、観光客対応でない外食レストランは、参加した女性に大好評。2日目は、街並の中から好みの食事処を探す企画。昔ながらの暖簾をくぐり、職人気質の地域の人間性を観察しながらの食事。これも観光資源としての想い出づくりに重要な要素だと感じた旅でもあった。(NPO法人信州地域社会フォーラム理事・白馬村森上)